

## 授業規律 10か条

### ①挙手はきちんと

「手を挙げる時には、天井に突き刺すような感じで挙げます。練習をしましょう」と笑顔で言い続けること。

### ②名前を呼ばれたら「ハイ」と返事

いつも名前を呼んだら「ハイ」と返事をする習慣をつけるようにする。「は～い」ではなく「ハイ」

「短くズバッとハイと言います。練習をしましょう」とする。

### ③机上の整理をさせよう

机上はいつも必要なものだけを出すように意識付けすることである。今学習しているものだけを出す。出し入れのスピードをつけさせる。

### ④机の中の整理・整頓をきちんと

低学年の時には、道具箱の蓋と本体にそれぞれ入れるものを指定している方式がとられている。物が少ない低学年の時には、それを徹底していけば十分である。プリントのたたみ方も必須の習得事項だ。きちんと教える。

高学年でモノが多くなってきた場合は、道具箱を袋に入れて、机のそばにかけさせておくことも考えなくてはならない。袋を持ってこさせて入れさせればいい。100円ショップで買ってきて、袋を忘れてくる子どもたちには持ってくるまで貸し出していたこともある。

### ⑤筆入れの中身を整える

学校によって決まっているものがあると思うが、もし決まっていなければこれでよい。

- ・シャープペンシルは禁止。鉛筆は飾りのないものを5本。
- ・消しゴムは白いもの。
- ・赤鉛筆を1本。
- ・ものさし（15センチ）

ときどき、筆箱を点検することも必要。強張ってするものではなく、笑顔で「チェックします!」とする。

何回も伝えて用意がない子は個別対応できちっと伝えることが必要。

### ⑥ノート指導の徹底

ノートは学習の要である。これをきちんと使えないと、どんなに教材研究をして授業を工夫していても、子どもたちに学力をつけさせることはない。それほど大切なもので

ある。ノート指導で大切にすることは、

- ・日付を書く
- ・教科書のページを書く
- ・教科書の問題番号を書く
- ・学習内容の小見出しを書く
- ・ノートは1行おきを書くようにする。決して詰めて書かない。

### ⑦発言を整えよう

○私は～だと思えます。

○私は～だと思えます。理由は～だからです。

○～さんとにていて

○～についてどう思えますか。

### ⑧授業時間を守る

学級が荒れてくると、必ず授業時間がいい加減になる。子どもたちに授業時間を守らせていくことは、特に大切な約束である。教師が始まり・終わりをいい加減にしている、子どもたちだけに授業の始まりをうるさく言うのは、本末転倒である。

### ⑨ノートを先生に提出するとき

授業中に、先生にノートを持ってきて、○をつけてもらったり、ノートを点検してもらったりする場合は多い。その場合に、ノートは先生が見やすいように提出するようにする。意外とこういう指導をしていない場合が多くある。ノート点検に手間取り、列がずっと並んでいくということがある。

### ⑩「どうぞ」「ありがとう」の言葉かけ

プリントを配布する場合、列の一番最初の子供に「どうぞ」と声をかける。子どもからは「ありがとうございます」という返事。その子供は、次の子供に後ろ向きで「どうぞ」という声。次の子供は「ありがとう」と答える。こういう習慣をつけたい。こういうことから始め、さまざまな場面で「どうぞ」「ありがとう」と声を掛け合う場面を作り出していきたい。